

犯罪のない安全・安心まちづくり情報誌

くらし 安全通信

Vol.

11

平成19年1月発行

神奈川県 安全防災局
安全・安心まちづくり推進課
電話 045 (210) 1111
(内線3507・3515)
FAX 045 (210) 8953

E-mail: anzenansin@pref.kanagawa.jp

ホームページ

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/anzenansin/anzennindex.htm>



安全・安心まちづくり
シンボルマーク

『地いきの目 ぼくらを守る 大きな力』

平成18年度安全・安心まちづくり「標語」コンクール優秀賞作品(小学生の部)

子どもたちの安全を確保する取組み

学校の先生方対象に「地域安全マップ」作製の研修



「地域安全マップ」は、子どもたちが実際にまちを歩いて作製することで、危険予測・回避能力を向上させる効果があると言われており、授業に取り入れる小学校も増えています。県では、くらし安全指導員がその作製方法等についてのアドバイスをを行っています。

くらし安全指導員による「地域安全マップ」の説明



地域の危険箇所をチェック:フィールドワーク



集めた情報をマップに記載

安全・安心まちづくり県民大会を開催します。

平成19年 2月3日(土) 13時30分～16時30分

「犯罪のない安全で安心なまち神奈川の実現」を県民総ぐるみで進めていくため、
県民大会を開催します。安全で安心なまちづくりについて、いっしょに考えてみませんか。

手話通訳、パソコン文字
通訳を行います。

内容 第1部 (表彰及び事例発表)

- ・犯罪のない安全・安心まちづくり功労者表彰及び奨励賞
- ・奨励賞受賞者による事例発表

第2部

- ・講演 演題「さわやか防犯ボランティア」さわやか福祉財団理事長・弁護士 堀田 力氏
- ・護身術講座 演題「心で護る自分の身」神奈川県柔道連盟事務局長 伊藤 吉治氏
- ・大会宣言

主催 神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり推進協議会／神奈川県／神奈川県警察

会場 はまぎんホール ヴィアマーレ
横浜市西区みなとみらい3-1-1 TEL.045-225-2173

- JR・横浜市営地下鉄線 「桜木町駅」動く歩道利用5分
- みなとみらい線 「みなとみらい駅」クイーンズスクエア連絡口・けやき通り口より徒歩7分

参加申込 行事名(県民大会)、郵便番号、住所、氏名、電話番号、参加人数を1月29日(月)までに
電話かFAX、Eメールで下記までお申し込みください。

県安全・安心まちづくり推進課 防犯対策推進班

問い合わせ先 電話 045-210-1111 内線3515・3516/FAX 045-210-8953
E-mail: anzenansin@pref.kanagawa.jp



堀田 力氏



伊藤 吉治氏

「あんあんネット」の団体登録及び メールマガジンの配信登録を募集しています!

安全・安心まちづくり推進課では、県内各地域で活動されている防犯ボランティア団体の皆様が情報を共有し、相互に連携して活動していただけるよう8月16日から新たにホームページ「あんあんネット」を開設し、防犯ボランティア団体の皆様に関する情報やくらし安全指導員の活動報告などを掲載したメールマガジンを配信しております。

防犯活動団体の皆様の情報を「あんあんネット」にご登録いただき、公開させていただくことにより、「私たちと同じような悩みを抱えている団体に相談してみよう」とか「近くで活動している団体にも声をかけて協力してパトロールをしよう」など、情報を共有することにより、活動の輪が広がっていくことが期待されます。

あんあんネットの団体登録は、県ホームページの「電子県庁かながわ」から電子申請で行うことができます。

また、メールマガジンの配信登録は「あんあんネット」からできます。

電子申請のアドレスは、
<http://www.pref.kanagawa.jp/e-kana/top/index.html>

「あんあんネット」のアドレスは、
<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/anzenansin/kouryu/anzenkouryu.html>



地域安全マップ講座 の開催について

神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり推進協議会より

神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり推進協議会では、子どもの安全確保のための取組みの一環として、神奈川県と協力し、地域全体が子どもを見守る気運を醸成し、子ども自身の危険予測・回避能力を向上させる上で有効とされる地域安全マップの作製を実習する講座を開催します。

実施回	日 時	場 所	定 員
1	1月27日(土) 9:30~15:30	藤沢市立鵜沼市民センター 藤沢市鵜沼海岸2-10-34 小田急江ノ島線「鵜沼海岸駅」徒歩3分	30名
2	2月10日(土) 9:30~15:30	県横須賀合同庁舎 横須賀市日ノ出町2-9-19 京急線「横須賀中央駅」徒歩10分	30名
3	2月18日(日) 9:30~15:30	相模原市立東林公民館 相模原市相南1-10-10 小田急線「東林間駅」徒歩5分	30名
4	2月26日(月) 9:30~15:30	横浜市立若葉台西小学校 横浜市旭区若葉台4-35-1 JR横浜線「十日市場駅」下車、バス「若葉台中央」下車徒歩10分	30名

申込方法 行事名(第〇回地域安全マップ講座)、住所、氏名、電話番号、参加人数(複数の場合は氏名も)を記載の上、各回の開催日の10日前までに電話かFAX、Eメールで左ページの問い合わせ先(県安全・安心まちづくり推進課)にお申し込みください。

警察からの 防犯アドバイス

オレオレ詐欺の被害総額は、 約15億500万円

神奈川県内では、平成18年1月から11月までの期間に655件のオレオレ詐欺が認知され(うち未遂12件)、被害総額は、約15億500万円にもなっています。

発生件数、被害額等

平成18年1月~11月の統計		
認知件数		655件 (うち未遂事件数12件)
既遂事件	被害総額	約15億500万円
	平均被害額	約234万円
	被害最高額	6,390万円
	被害最低額	20万円
被害者の性別	男性	191人
	女性	452人

税務職員等を装う新たな犯罪が多発!

税務職員等を装い、税金の還付金があるなどの話を持ちかけ、ATM(現金自動預支払機)まで行かせ、操作を指示して現金を振り込ませる手口も増えているので、ご注意ください。

最近の手口

- 事前に犯行の準備的電話を入れるもの
犯人はあらかじめ、犯行の前日あるいは数日前に「風邪をひいて、のどを痛めている。」
「仕事で悩んでいる。」
などの電話を入れ、声が普段と違うことやトラブルを抱えているといった被害者が信じてしまうような話をした上で「携帯電話を落として(携帯電話が壊れて)電話番号が変わった。」
などと言い、犯人の電話につながるようにし、本人確認ができないように仕向けて、犯行に及んでいます。
- 学校の卒業生名簿を悪用するもの
高校等の卒業生名簿を悪用し、家族などをだます犯人もいます。

電話で振り込めと要求されても言われるまますぐに振り込まず、必ず、本人に確認するか、地元警察署に相談してください!!

相模原市 やぐち
谷口小学校 P T A

地域とより良い連携プレーを！！



みなさん、こんにちは!「明るく元気に」がモットーの谷口小学校PTAです!私たちは、今、古くて新しい試みにチャレンジしています。それは地域との連携を今まで以上に深めることです。子を持つ親として子どもの安全を第一に考えるのは当たり前のことで、谷口小学校でもPTAボランティアによる防犯活動が続けてき

ましたが、組織力の低下や参加人員の減少など限界を感じ始めていました。そこで、谷口小学校学区の特徴を調べてみたところ、「兼業農家が多い」「地域の協力者が多い」「2世代以上の同居率が高い」など、地域密着型であることが分かりました。また、青少年相談員、民生委員、児童委員や保護司の方など子ども達のために地域で活躍していただいている方が数多くいらっしゃることも分かりました。

そこで、私たちは、講演会や防犯パトロール(谷口みまもりたい(隊))を通して、PTA会員の意識を高めるとともに、青少年相談員など地域で頑張ってくださいている方々の活動を保護者や児童達にも把握・認識してもらい、連絡を密にして一緒にできることは連携して活動していくことを目指しています。

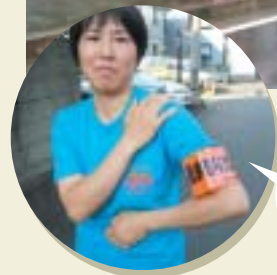
子ども達の安全を守る活動に終わりはありません。如何に継続・充実させていくかを目標にこれからも頑張っていきます!



ふれあい事業(防犯教室)



児童と保護者で通学路点検



谷口みまもりたい(隊)

子どもの安全を守るために

城山町 かわしり
川尻小学校 P T A

親子で学ぶ! 安全教室

「今までどおりでいいのか?」私たち川尻小学校PTAでは、平成15年度までPTA主催による自転車教室(通称:日曜PTA)を行っていましたが、参加児童の減少、特に高学年の参加が少なく寂しい思いをしていました。

また、「安全」という言葉の持つ意味が、現代社会において色々な課題を私たちに突きつけてきました。

そうした「思い」と「課題」を、保護者と教員とで話し合い、平成16年度から学校とPTAの共催で1年生から6年生まで、発達段階に合わせた「安全」に対する教室を行うことにしました。

つまり、PTAの学年委員会事業を学校の教育課程に位置付け、授業とPTA事業を融合一体化させたのです。学校とPTAとの協働により全児童の参加を可能にし、内容も学年に応じてきめ細かく行えるようになりました。また、保護者も積極的に参加するようになり、1日を通して親子と一緒に学び・話し合える場作りができました。

将来にわたって「安全」な生活を送るためには、初等教育のうちから子ども達が「安全」に関心を持ち、知識や実能力を身に付けることが大切です。これからも家庭・学校・地域が連携して子ども達の「安全」を守っていきたくと考えています。



1年



2年



3年



6年

- 1年 横断歩道の渡り方
- 2年 防犯ベルの使い方及び連れ去り等への対応
- 3年 自転車の正しい乗り方
- 4年 いじめ、誘拐等の暴力から自分を守る
- 5年 たばこの害と危険性
- 6年 携帯電話・インターネットの出会い系サイトの危険性

地域活動情報